

# 障がい者によるまちづくりサポーター制度 意見交換会～参加報告

札幌市障がい福祉課が事務局をしている【障がい者によるまちづくりサポーター】のみなさんと、JDD ネット北海道(道協会・クローバー・い～よ・ドンマイ・みらい・ポプラ会)の意見交換会に参加してきました。

【障がい者によるまちづくりサポーター】さんには、肢体・聴覚・精神・知的・発達(カモミールさんの方でした)などの障害を持つご本人さんがメンバーで、自分たちが住みやすいまちづくりの為に、このような情報収集をしながら話し合いを進めているそうです。

今回は発達障がいの人たちの、災害時における「日頃の備え」「発生時の行動」「避難場所での行動」などについてどんなことをしているのか、どんなことが難しいのか、どんなことが心配なのか、どんなことを求めるのか、質問や意見で時間オーバーして話し合いました。

最後にサポーターさんの方から、「障がいを持つ方を対象に、いろんな方の協力をもって避難訓練を行うとしたら、参加したいと思いませんか？」という質問がありました。

「緊迫感を求めるのではなく、淡々と避難行動が行え無事に命を守る事を目的とするならば、是非参加したいです」と答えてきました。

障がいを持たない方に自閉症の人たちの事を知っていただくのも大切ですし、違う障がい種の方とお互いの理解を深めて、協力しあって災害時を乗り越えられたらいいなあ～と感じました。(菅井なおみ)



## 【障がい者によるまちづくりサポーター制度とは】

●障がいのある人の思いや考えを、同じ目線で理解や応援することができる障がいのある人が、「サポーター」として聞き取り役や取りまとめ役を行い、障がいのある人の意見を市政に反映させることを目的としています。

## 「障がい者によるまちづくりサポーター制度 運営事業実施要綱」より

(目的)

第1条 この要綱は、障がいのある人の思いや考えを、同じ目線で理解や応援することができる障がいのある人が、サポーターとして聞き取り役や取りまとめ役を行い、障がいのある人の意見を市政に反映させることを目的とする。

(札幌市ホームページより)

★日本自閉症協会発行の「防災・支援ハンドブック」の中にも、「命を守るために 準備編」「災害が起きたらこうしよう」などのページで、災害時における「日頃の備え」「発生時の行動」「避難場所での行動」などが記載されています。

日本自閉症協会 HP ( <http://www.autism.or.jp/> ) でダウンロード出来ます。

